

団体の沿革・紹介



設立趣旨： 大学研究成果の 発展と 社会実装

法人設立日
2007年12月3日

2007. 11.15 京都新聞夕刊

貧困削減 住民が使える工学を



土のうで道を補強する現地の住民（06年5月、バブアニューギニア・ケレナガ村）一福林さん提供

土のうで道普請世界へ

京都大の工学博士の教授と教える子が二年前から、加賀が行き届かない開発途上国の農村地で、定期バスが通れなくなると、道路を土のうで住民ごとにも補強し、年中使えるようにする地道な支援活動に取り掛かっている。これまでに直した道は四方園で計一・八キロ、活動資金は完全に自給自足。NPO法人「特定非営利活動法人」格を取得する。

木村・京大教授と教え子

工学部の現地で世界の貧困として維持管理も行える改善削減活動に取り組む木村浩一。軍として「土のう」の使い方を京都大在学で連携センター教員、教員は「いい」と思いつき、授け「社会工学、アフリカ」二〇〇五年九月、バブアニューギニアの農村地で長閑が粘土、土で初の活動を始め、土のうで降りてくると、道が。その後、当時、木村教授が、市場へ農産物を運ぶべく、在籍して、工学部資料で学び、始めに福林良義さん（現）と、活動の目的、ととも「アフリカ、アフリカ、農村が安く、住民の手で継続、ウカマの貧しい村の道を補

4カ国農村1.8キロ直す NPO法人 近く取得



活動風景の切り絵とカレンダーを手にとり談笑する福林さん（右）と木村教授。京都市西京区・京都大ローム記念館

強してきた。福林さんが九月末三週間、の課程を終え、本格的に活動を行うのを機に、NPO法人の認定を申請した。名前は「土のう」で、活動の日本では「土のう」で、住民自身が生活道路を直した。精神にちなんだ。メンバーは二十四人三団体、生観が交わった。この活動を、体、実践スタッフと賛助者、多くの人と分かると、と話す。問い合わせは福林さん、電話075-7708508、印刷したP1カレンダーを、3。

道普請人（みちぶしんびと）

「道普請」をする
のこころを持った



「人」の集まり



Community
Road
Empowerment

2005.9.21
パプアニューギニア

道普請人 役員

| | | | |
|------|--------|-------------------|--------|
| 理事長 | 木村 亮 | 京都大学大学院 教授 | 2007年～ |
| 副理事長 | 岸田 潔 | 京都大学大学院 教授 | |
| 副理事長 | 福林 良典 | 宮崎大学 准教授（元常務理事） | |
| 理事 | 日下部 史明 | 錦城護謨(株)東京支社・顧問 | 2013年～ |
| 理事 | 児島 郁男 | 多摩火薬機工(株)・代表取締役社長 | |
| 理事 | 瀧川 信二 | (株)タック・代表取締役社長 | |
| 理事 | 田中 稔 | (有)エコタウン・会長 | |
| 理事 | 若山 裕介 | (株)安藤・間 | 2017年～ |
| 理事 | 中井 智巳 | 戸田建設(株) | 2018年～ |
| 監事 | 三原 康則 | 税理士法人イースリーパートナーズ | 2007年～ |

| | | | |
|------|------|------------------|-----------------|
| 副理事長 | 喜田 清 | 元国際協力機構（JICA）専門家 | 2009年～ 2017年 |
|------|------|------------------|-----------------|

道普請人 専門家

駐在員を工学的側面で補佐し、道路整備の設計や積算、現地スタッフや住民への施工指導

| | | |
|-------|---|-------|
| 田中 輝彦 | ミャンマー | 2013～ |
| 田川 満男 | ミャンマー、東ティモール、ブルキナファソ エチオピア、マダガスカル、タンザニア、モーリタニア | 2014～ |
| 渡邊 隆一 | ケニア、ウガンダ、ルワンダ | 2018～ |



現地事務所の活動

世界銀行 (WB):ケニア

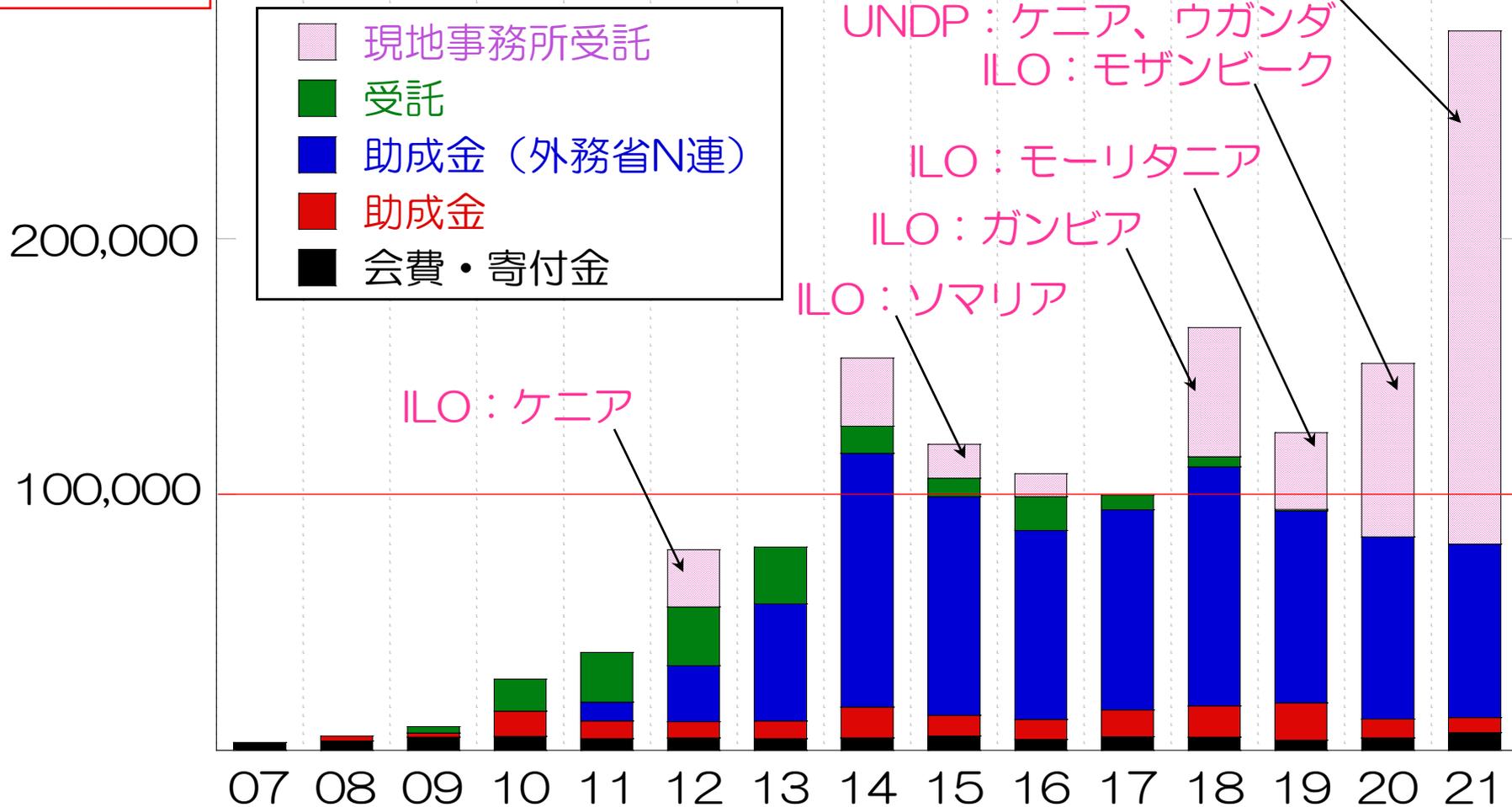
国連開発計画 (UNDP) :ウガンダ

国際労働機関 (ILO) :エチオピア, スーダン

他NGOとの協働

千円

300,000



世界の貧困削減を目指す！ 31ヶ国、2022年12月

